

各プロジェクト一覧表

No	プロジェクト名	プロジェクトの概要	プロジェクトの実施状況				プロジェクトの目標	担当部局	
			第1期期末評価時点 (集計年度)	第1期期末評価時点以降～平成26年3月末時点(予定)					
				場所	実施状況	備考			
1	東京湾環境一斉調査 (東京湾における流域および海域の環境一斉調査)	多様な主体による水質等の調査の実施	平成20年から毎年実施している。	東京湾の流域及び海域	平成25年8月7日に東京湾環境一斉調査を実施 参加機関数:143 調査地点数:海域344、陸域447 調査への参加を市民・事業者呼び掛け	東京湾環境一斉調査を継続実施予定	調査の継続、参加団体数の拡大	共通	
2	水質等の観測 (東京湾の水質の常時監視)	水質汚濁防止法第16条に基づく常時監視により、東京湾の水質を把握する。	定期的実施している	東京湾内	平成25年度測定計画に基づき常時監視、底質調査等を実施	平成26年度測定計画に基づき実施予定	-	都県・水濁法政令市	
3	水質等の観測 (広域総合水質調査)	東京湾の水質、底質、プランクトン及び底生生物調査を実施する。	定期的実施している	【水質】 21地点 【プランクトン】 7地点 【底質、底生生物】 8地点	東京湾の水質、底質を年4回、プランクトン及び底生生物調査を年2回実施	東京湾の水質、底質、プランクトン及び底生生物調査を実施	調査の継続	環境省	
4	水質等の観測 (測量船による透明度・水温・塩分・溶存酸素のモニタリング実施)	東京湾内の定点において測量船を用いて定期的なモニタリング観測を行う。	年12回実施している	東京湾内	測量船により透明度・水温・塩分・溶存酸素の各項目について月1回の観測を実施	測量船により透明度・水温・塩分・溶存酸素の各項目について観測を実施	-	第三管区海上保安本部	
5	水質等の観測	定点による連続観測(モニタリングポスト)、清掃兼油回収船「べいくりん」による定期観測の実施	千葉灯標等、湾内5ヶ所で連続観測が実施され、Webサイトにて情報が公開されている	千葉灯標	モニタリングポストによる水質・海潮流等の連続観測を実施する	継続して実施予定		海上保安庁	
				【モニタリングポスト】 4地点 【定点水質観測】 6地点	【モニタリングポスト】 東京湾内の4地点(千葉港波浪観測塔、千葉港口第一号灯標、川崎人工島、浦安沖)に水質、潮流、気象を測定する観測機器を設置し、24時間365日連続観測を行っている。 【定点水質観測】 東京湾内の6地点(一般海域)において、毎月1回、各3層(上層・中層・下層)の採水をし、水質分析を行っている。	継続実施	観測の継続	関東地方整備局	
				横浜港京浜地区(京浜運河域)	横浜港京浜地区(京浜運河域)の水質(水温、塩分、濁度、DO、pH、クロロフィルa、水位)・底質(含水比、強熱減量、全硫化物、粒度組成、クロロフィルa)・底生生物(出現種の同定、個体数の計数、湿重量の計量)調査を実施(平成25年度)	継続調査を実施予定	観測の継続	関東地方整備局	
6	東京湾の赤潮発生状況の把握	調査船による定期的な監視及び漁業者等からの随時の情報収集により、東京湾の赤潮発生状況を監視する。	東京湾の赤潮発生状況を把握(平成23年度赤潮発生件数※:0件)※神奈川県海面で発生した全赤潮を把握したものではない		東京湾の赤潮発生状況を把握(平成24年度赤潮発生件数※:0件)(平成25年度赤潮発生件数※:4件)※神奈川県海面で発生した全赤潮を把握したものではない	東京湾の赤潮発生状況を把握予定	-	神奈川県環境農政局	
7	三番瀬自然環境調査事業	生物とそれを取り巻く環境に関して、地形・環境条件・生物の中から、必要な調査を実施する。	-	三番瀬	鳥類個体数調査 24回	概ね5～6年ごとに自然環境の状況を総合的に取りまとめる。	左記に同じ	中長期の変動を含めた三番瀬の生態系を把握する	千葉県

各プロジェクト一覧表

No	プロジェクト名	プロジェクトの概要	プロジェクトの実施状況				プロジェクトの目標	担当部局	
			第1期期末評価時点 (集計年度)	第1期期末評価時点以降～平成26年3月末時点(予定)					平成26年度の実施予定
				場所	実施状況	備考			
8	観測・環境調査データ等の公開	観測データの公開、モニタリングポストで得られたデータのリアルタイム情報発信、その他観測・環境調査データの標準化によるデータベース化及び東京湾環境情報センターからのデータ公開	広域総合水質調査に関しては環境省が、環境基準点の調査結果については各自治体または東京湾岸自治体環境保全会議がそれぞれ報告書を作成している。	(TBEICについて) 【箇所】 ①モニタリングポスト：千葉灯標等、湾奥5箇所 ②海洋短波レーダ：東京湾全域 ③環境調査データのデータベース化：東京湾全域	(TBEICについて) 【実施状況】 ①モニタリングポストにて気温、平均風速、水温、塩分、DO、クロロフィルa、濁度、流況の情報をリアルタイムで観測している ②海洋短波レーダで取得された表層流況の面的分布(ベクトル)を風向風速や推算潮位のデータと共に配信している ③直轄及び東京湾一斉調査等で行われた東京湾全域の環境調査データを標準化によるデータベース化を実施している (Web公開について) モニタリングポストによる定点連続観測データ(気温、平均風速、水温、塩分、DO、クロロフィルa、濁度、流況)をリアルタイムで公開している		(TBEICについて) 同内容で継続 (Web公開について) 同内容で継続	データ公開の継続	共通(関東地方整備局)
				(常時監視) ホームページ上で概要、データ等の公開。年度ごとに報告書として取りまとめ。 (広域総合水質調査) 報告書を作成するとともに、結果をホームページ上で公開。		継続実施			
9	東京湾の貧酸素水塊発生状況の発信	調査船が実施する水質調査により、ホームページ(東京湾の溶存酸素情報)において貧酸素水塊の発生状況を発信する。	東京湾の溶存酸素情報を発信(平成23年度実績:23回)		東京湾の溶存酸素情報を発信(平成24年度実績:19回)(平成25年度実績:13回)		5～11月に計19回の調査を実施し、東京湾の溶存酸素情報を発信予定	-	神奈川県環境農政局
10	モニタリング研究会	有識者によるモニタリング分科会への助言	平成20年度の「東京湾のモニタリングに関する政策助言」により、今後の施策の方針等が示された					関係機関が連携・協働した効率的かつ効果的なモニタリング体制の構築	共通